

の大過渡期に遭遇したる日本女子の義務とし、天職として、また現在及び將來に於ける一家の家母として、十分此事に盡瘁せられんことを望まざるを得ない。

奉天蒙養院

奉天官立第一蒙養院と云ふのは即ち我國の所謂幼稚園で場所は奉天府四平街買家胡同と云ふ所にあり、前年より趙將軍の命によりて張提學使が熱心に經營して創設せしものなりと云ふ該院の職員は院董拔貢生董韶清(奉天人)と書記一名(清人)主任保母山口政子(東京市)保母前田新子(東京市)通譯(日本人)一人にして雜役者九人保母附下婢一人兒童附の女二名(何れも清人)あり目下の保、兒童は七才のもの三十一人五六才合せて三十一名計六十二名あり

院の構造は頗る廣大事務室保育室養生室應接室事務職員以下(の)宿舍等備はらざるなく室内には種々の繪畫の額を掲げ庭内にはブランコ遊動圓木等の設けありて諸般の設備至らざる所なきがし如し庭内少しく狹隘に失るなきかの態あり遊戯具は一切日本へ注文し本日到達したりとて種々の教育品あり該院は近き將來に於て保母の養成をも開始するの目的にて現に志望者を募集し願書を提出し居るもの約三十名あるも間には四十内外の婦人もあり是等年齢多きものを除き三十才内外位

までとせば半數位に至るべく提學使の意見は多く師範學生より採用する筈ならん

入院者の保育料は徴收せず元來教育費は人民を煩はさず一切官費として大に教育の普及を計るは清國官憲の方針なるが如し

通院の兒童は皆婦人附添にて場内には或る區域以内には男子の入るを許さず「男保護至此止歩閉人亦一概禁入」の揭示あり保育兒たる證票木札を帯び來る間には母たる人の附き來るものあり

主任保母山口氏は東京女子師範學校出身にして東京にて八ヶ年間幼稚園に奉職し學識經驗共に高く東京女子高等師範學校主事山村氏の推薦によりて赴任せりと聞く將來の施設見るべきものあらん

張提學使の山口氏に對する待遇頗る厚く氏が本年三月赴任の際の如き廳僚四人をして停車場に出迎へしめ着後は提學使の司署一個所を擧げて其の居住に充て厚遇至らざるなかりきと山口氏は二十日前より院内に引移り來れりと通譯たる婦人は小學校にて山口氏より教育を受けたる人にて偶然此地にて邂逅し就職するに至りしは亦奇遇と云ふ可し。